

パラディウム・ジャパン・トラストー

dbX-ウイントン・ パフォーマンス連動型ファンド (米ドル建／豪ドル建／円建)

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／限定追加型

交付運用報告書

作成対象期間 第9期

(2016年10月1日～2017年9月30日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

ドイチェ・アセット・マネジメント・エス・エー

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

パラディウム・ジャパン・トラストーdbX-ウイントン・パフォーマンス連動型ファンド(米ドル建／豪ドル建／円建)(以下「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第9期の決算を行いました。サブ・ファンドの投資目的は、登録受益者に対し、(i)クラスA受益証券に対しては米ドル建の、(ii)クラスB受益証券に対しては豪ドルにヘッジされた、および(iii)クラスC受益証券に対しては日本円にヘッジされた、dbX-CTA5ファンド(以下「投資先ファンド」ということがあります。)への想定上の投資に連動するリターンを提供することです。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
クラスA受益証券	1.2278米ドル	3,567,599米ドル
クラスB受益証券	1.5162豪ドル	3,131,782豪ドル
クラスC受益証券	115.56円	489,662,381円
第9期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
クラスA受益証券	-5.78%	該当事項は ありません。
クラスB受益証券	-5.14%	
クラスC受益証券	-7.19%	

(注)騰落率は、受益証券1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

◀ 運用経過 ▶

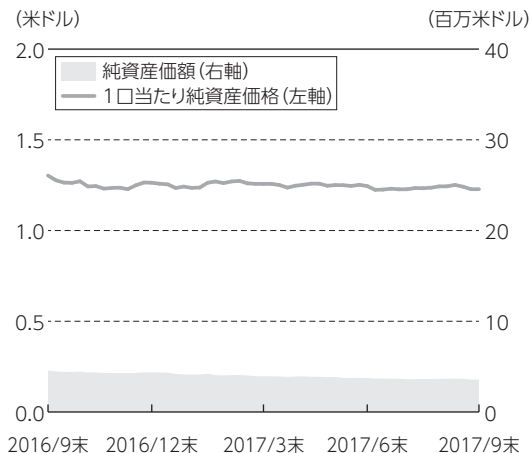
当期の1口当たり純資産価格等の推移について

(注1) サブ・ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

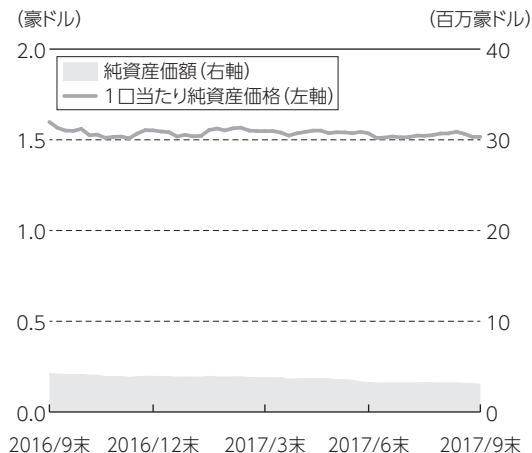
(注2) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

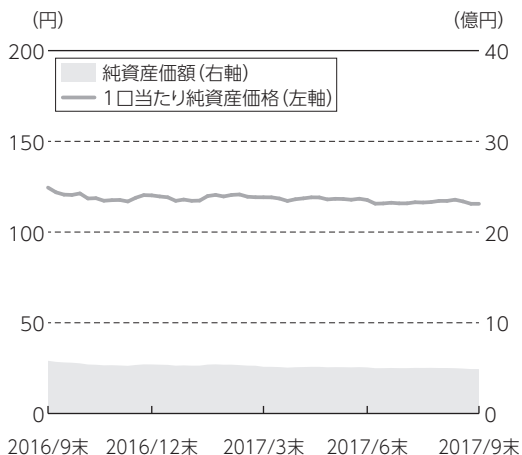
クラスA受益証券



クラスB受益証券



クラスC受益証券



	第8期末の 1口当たり 純資産価格	第9期末の 1口当たり 純資産価格	第9期中の 1口当たり 分配金合計額	騰落率
クラスA 受益証券	1.3031米ドル	1.2278米ドル	該当事項は ありません。	-5.78%
クラスB 受益証券	1.5984豪ドル	1.5162豪ドル		-5.14%
クラスC 受益証券	124.51円	115.56円		-7.19%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

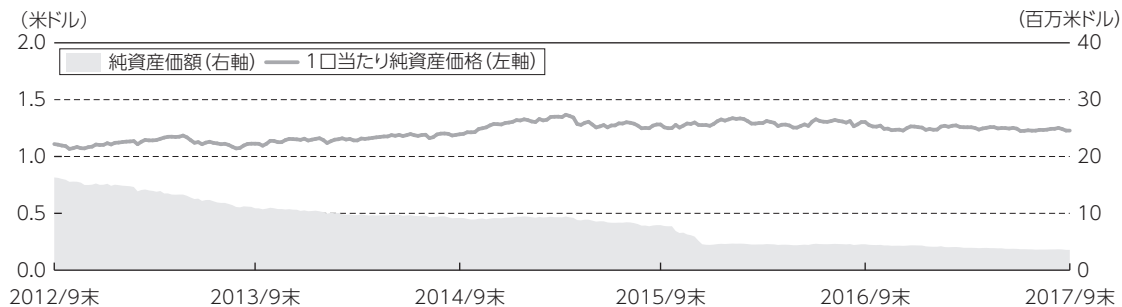
後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

費用の明細		
項 目	項目の概要	
固定報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の純資産価額に対し年率0.15%	固定報酬契約に基づく固定報酬代理人の業務の対価として、固定報酬代理人に支払われます。
販売会社報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の純資産価額に対し年率0.40%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の純資産価額に対し年率0.10%	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用(当期)	0.00%	監査人の報酬および費用、評価費用、法務費用、パラディウム・ジャパン・トラストおよびサブ・ファンドの設定および継続開示に関する費用等(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬等)として支払われます。

(注)各報酬については、有価証券報告書に記載されている料率を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

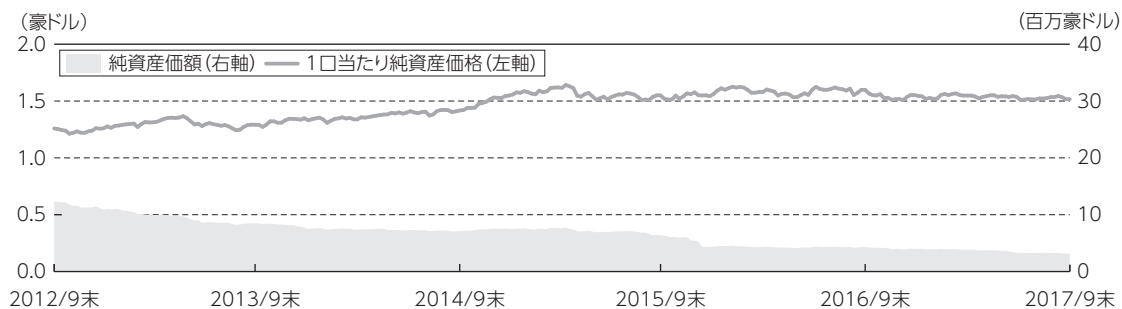
クラスA受益証券



	第4期末 2012年9月末日	第5期末 2013年9月末日	第6期末 2014年9月末日	第7期末 2015年9月末日	第8期末 2016年9月末日	第9期末 2017年9月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	1.1094	1.1125	1.1956	1.2816	1.3031	1.2278
1口当たり分配金額 (米ドル)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	-5.22	0.28	7.47	7.19	1.68	-5.78
純資産価額 (米ドル)	16,312,778	10,882,121	9,181,805	7,923,942	4,558,965	3,567,599

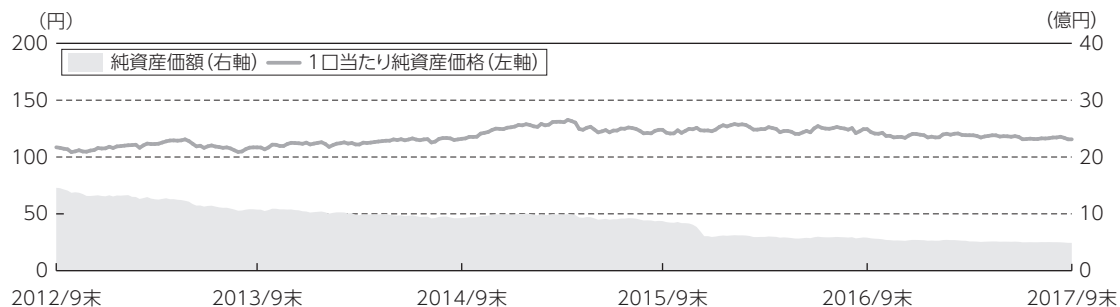
(注) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。以下同じです。

クラスB受益証券



	第4期末 2012年9月末日	第5期末 2013年9月末日	第6期末 2014年9月末日	第7期末 2015年9月末日	第8期末 2016年9月末日	第9期末 2017年9月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	1.2587	1.2916	1.4165	1.5501	1.5984	1.5162
1口当たり分配金額 (豪ドル)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	-0.96	2.61	9.67	9.43	3.12	-5.14
純資産価額 (豪ドル)	12,340,268	8,474,575	7,109,617	6,420,837	4,309,394	3,131,782

クラスC受益証券



	第4期末 2012年9月末日	第5期末 2013年9月末日	第6期末 2014年9月末日	第7期末 2015年9月末日	第8期末 2016年9月末日	第9期末 2017年9月末日
1口当たり純資産価格 (円)	108.55	108.46	116.02	123.92	124.51	115.56
1口当たり分配金額 (円)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	-5.41	-0.08	6.97	6.81	0.48	-7.19
純資産価額 (円)	1,458,068,115	1,074,398,969	927,714,498	872,425,061	581,108,930	489,662,381

投資環境について

後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

ポートフォリオについて

2016年10月1日から2017年9月末日までの第9期のサブ・ファンドの運用成績はそれぞれ、米ドルベースで-5.78%、豪ドルベースで-5.14%、円ベースで-7.19%でした。

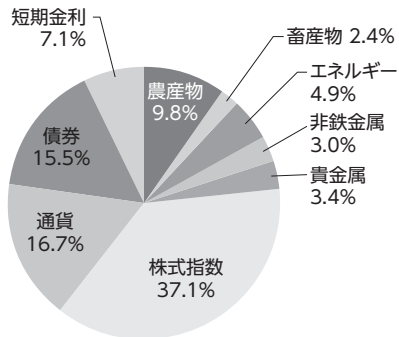
市場環境

- 当期の株式市場は、トランプ政権下での拡張的な財政政策に対する期待や米企業の好決算等を材料に上昇傾向となりました。2016年11月の米大統領選挙以降は投資家心理も改善し、1月にダウ平均株価が史上初の2万ドルの大台を突破した他、好調な経済指標やフランス大統領選の結果を受けて政治的懸念が低下したことで欧州市場も堅調に推移しました。当期末にかけて世界株式市場は上昇を続け、S&P500種指数は2,500を上回り史上最高値を更新しました。
- 当期の債券市場は、米国の利上げ観測やインフレ期待に伴い下落傾向となりました。米連邦準備制度理事会(以下、FRB)は2016年12月に金融危機以来2度目となる利上げを実施したのち、2017年3月に続いて6月に追加利上げを行い、量的緩和政策を巻き戻す計画を提示しました。また、6月の終わりには欧州中央銀行のマリオ・ドラギ総裁がユーロ圏の景気・物価見通しについて楽観的な見解を示したことが引き金になり、欧州債を始めとする幅広い国債価格が下落しました。7月の米連邦公開市場委員会の会合議事録で低インフレに対する懸念が示されたことで、市場参加者の米国利上げ観測は後退し、米10年国債利回りは年初来で最低値を付けたものの、9月にFRBが金融緩和プログラムの縮小案を示したことで再び上昇しました。
- 当期のエネルギー市場では、期初に石油輸出国機構(以下、OPEC)による減産交渉の合意を受け、原油価格が大きく上昇しました。その後、暖冬予想やOPECの協調減産の内容に対する失望から天然ガスや原油の価格が下落する局面も見られましたが、9月には世界的な原油の過剰供給が解消され始め、ブレント原油価格は2015年7月以来となる高値を付けて当期を終えました。

投資先ファンド(dbX-CTA5ファンド)の運用状況について

- 当期は、世界株式市場の上昇から収益を獲得したものの、FRBの利上げを巡る動きや原油価格の変動の影響で債券及びエネルギー市場で損失を計上したことにより、全体ではマイナスのパフォーマンスとなりました。セクター別で見ると、株式指数セクターや農産物セクターから収益を上げた一方で、市場の揉み合いや反転により債券セクター並びにエネルギーセクター、貴金属セクター等から損失を計上しています。
- 投資先ファンドの投資助言を行うウィントン社では、より優れた運用プログラムを開発する為に継続的に研究開発を続けています。

投資先ファンドのセクター別委託証拠金比率*
2017年9月26日現在



パフォーマンス・ポートフォリオの推移(米ドル建) 2009年8月4日~2017年9月末日



*過去4週間の平均値(概算)

(注)上記の比率は、四捨五入した平均値を記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

分配金について

該当事項はありません。

《今後の運用方針》

受益者に対して、「①クラスA受益証券に対しては米ドル建の、②クラスB受益証券に対しては豪ドルにヘッジされた、③クラスC受益証券に対しては日本円にヘッジされた、投資先ファンドへの想定上の投資に連動するリターン」を提供するという当初の方針に変更はなく、これらを達成するために、サブ・ファンドは今後も運用を行っていく方針です。

《お知らせ》

- 受託会社の名称変更について
2017年5月12日付で、受託会社は、その名称をロイヤル・バンク・オブ・カナダ・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッドからSMPパートナーズ(ケイマン)リミテッドに変更しました。
- 固定報酬代理人の交代について
2017年9月1日付で、固定報酬代理人は、ドイツ銀行ロンドン支店からドイチェ・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに交代しました。
- アレンジャー契約の終了について
2017年9月1日付で、管理会社とアレンジャー(ドイツ銀行ロンドン支店)との間のアレンジャー契約は終了しました。

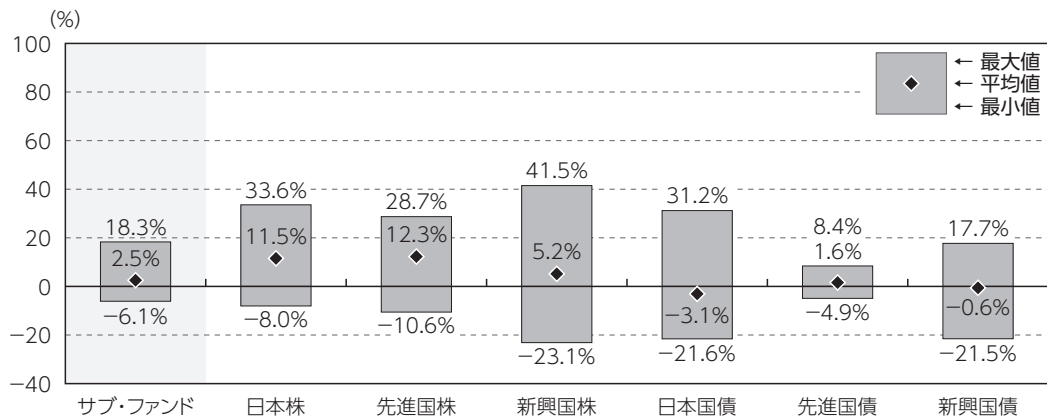
《サブ・ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託/限定追加型
信託期間	サブ・ファンドは、定められた事由により終了しない限り存続します。なお、サブ・ファンドの最終償還日は、2019年10月31日(ただし、純資産価額の決定が停止された場合には、停止終了日の翌営業日)の予定です。
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、登録受益者に対し、(i)クラスA受益証券に対しては米ドル建の、(ii)クラスB受益証券に対しては豪ドルにヘッジされた、および(iii)クラスC受益証券に対しては日本円にヘッジされた、投資先ファンドへの想定上の投資に連動するリターンを提供することです。
主要投資対象	パラディウム・セキュリティーズ・ワン・エス・エイにより発行され、サブ・ファンドの最終償還日の約1暦月前に満期を迎える予定の各シリーズの債務証券(以下「本社債」といいます。)
ファンドの運用方法	投資目的を達成するために、サブ・ファンドの各クラス受益証券は、(準備金、費用および設立費を控除後の)当初資産の全部を、債務証券および受益的株式のためのプログラムに基づいて、本社債に投資しました。
分配方針	サブ・ファンドの存続期間中、分配金は支払われません。

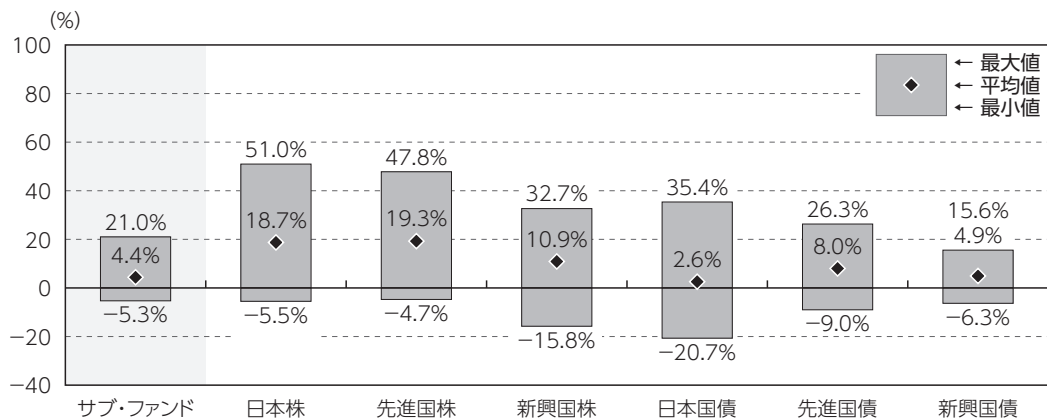
(参考情報)

● サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

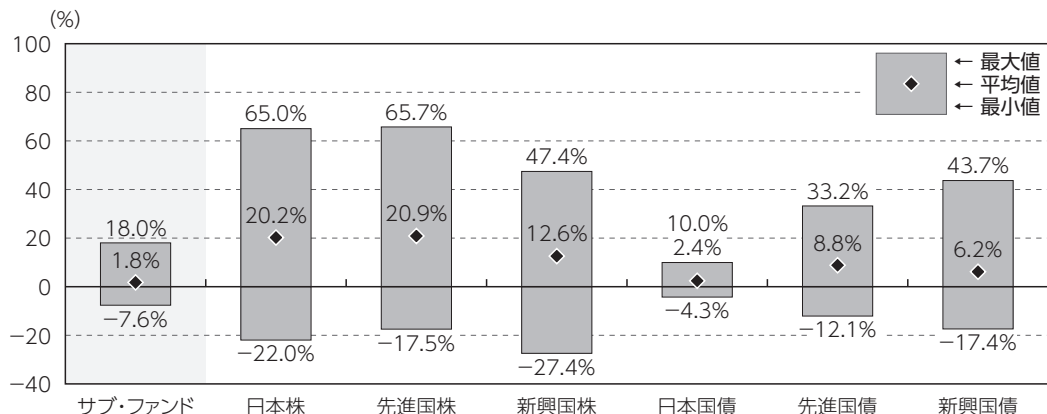
クラスA受益証券



クラスB受益証券



クラスC受益証券



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※全ての資産クラスがサブ・ファンドの投資対象とは限りません。

※サブ・ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2013年2月から2018年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、サブ・ファンドの騰落率の計算に際しては、3月および9月の受益証券1口当たり純資産価格については会計年度末および半期末の数値を、その他の各月末の受益証券1口当たり純資産価格については原則として当該月の最終火曜日の数値を用いています。

※このグラフは、サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

クラスA受益証券

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

クラスB受益証券

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

クラスC受益証券

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

《サブ・ファンドデータ》

サブ・ファンドの組入資産の内容

● 組入上位資産

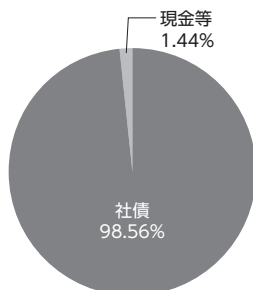
(組入銘柄数: 3銘柄)

(2017年9月30日現在)

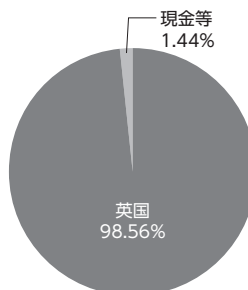
銘柄	通貨	組入比率
PALLADIUM SECURITIES 1 0% 09-30.9.19	円	41.14%
PALLADIUM SECURITIES 1 0% 09-30.9.19	米ドル	34.04%
PALLADIUM SECURITIES 1 0% 09-30.9.19	豪ドル	23.38%

(注)組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。端数調整方法の相違により、運用報告書(全体版)に記載されているサブ・ファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下の各グラフも同様です。

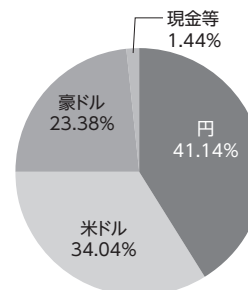
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1)組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2)上記の比率は、純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

純資産等

第9期末			
クラス名	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
クラスA受益証券	3,567,599米ドル	2,905,600口	1.2278米ドル
クラスB受益証券	3,131,782豪ドル	2,065,500口	1.5162豪ドル
クラスC受益証券	489,662,381円	4,237,500口	115.56円

(単位:口)

第9期中			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
クラスA受益証券	0 (0)	593,000 (593,000)	2,905,600 (2,905,600)
クラスB受益証券	0 (0)	630,600 (630,600)	2,065,500 (2,065,500)
クラスC受益証券	0 (0)	430,000 (430,000)	4,237,500 (4,237,500)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。